年度始

1　実態把握 ／2　目標

子ども一人一人の実態把握をします。また、「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」、「学習指導要領解説各教科等編」を活用し、自立活動や各教科等の目標を確認、又は、設定します。

学習目標段階 Check 表

P.1

年度始

3　学級集団の実態の整理

学級（学習）集団の興味・関心や強み、学習経験、課題などを整理します。生活面や対人面の課題のほか、生活年齢を踏まえたキャリア教育の視点からの課題についても、整理します。

P.1

年度始

4　合わせた教科と時数の確認

「教育課程表」を基に「各教科等を合わせた指導で取り扱う教科」を確認し、「各教科等を合わせた指導で取り扱う教科」について、生活単元学習で実施する時数を検討します。

「教育課程表」を活用しましょう！

①「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科及び、「各教科等を合わせた指導」において実施する時数の確認
②生活単元学習において実施する時数の検討

合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

生活単元学習として「合わせた教科」は、生活単元学習において指導し、評価を行う教科と考えます！

小学校 P.2
中学校 P.4
特別支援学校 P.6

年度始

5　年 間 指 導 計 画

子どもの実態や興味・関心に応じて、単元間の関連性や学びの系統性、偏りのない学習活動及び学習内容になるよう、計画します。

①教材の検討（案・絞り込み）
②教材間のつながりの検討
③取り扱う教材の精選と単元化
④主とする教科や主たる学習活動の検討
⑤各単元の時数及び主とする教科に係る時数の概算
⑥各教科等の総時数の確認

合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

P.7
①→P.7　④→P.10
②→P.8　⑤→P.12
③→P.8　⑥→P.13

単元前

6　単　元　設　定

身に付けたい資質・能力を踏まえ、「子どもの実態」「単元の特色や意義」「主たる学習活動」について、相互の関連を見ながら整理し、単元を設定します。

単元目標は、教材や学習活動に沿った目標を立てます！
教科の目標は、学習活動に落とし込んでいきます！

P.14

単元前

7　単　元　計　画

単元目標を達成するために必要な「子どもの思考の流れ」を軸として、単元を計画します。また、単元のどこでどの教科の内容に重点を置くか検討し、学習活動に応じて教科の内容や評価の観点を決定します。

P.15

授業前

8　授業の目標及び評価規準

学習活動に応じた授業の目標を設定し、評価規準を明確にします。

授業の目標は、教科の目標にならないことに注意します！学習活動に応じた目標を立てます！

P.18

授業前

9　授　業　計　画

「重視する学びの姿」「学習活動」「支援の手立て」について考えます。また、各教科等の目標に係る活動の内容等を設定します。

a 重視する学びの姿…授業のどの場面で、どのような学びの姿を引き出すことをねらうかを検討
b 学習活動…学習活動の流れや、子どもの役割グルーピング、各教科等の目標に係る活動の内容等の検討
c 支援の手立て…子ども一人一人や学級全体への支援の手立ての検討
d 環境設定…学習活動に応じた場の設定や教員の役割の検討

学習目標段階 Check 表

P.19
a →P.19
b →P.20
c →P.21
d →P.22

授業後
単元後

10　学　習　評　価

評価の３観点に基づき、授業、単元、教科の目標の評価を行います。教科の目標の評価は、授業における活動の状況をもって、行います。

P.23